

## 塩竈に俳句の文化が根付くように

## 塩竈市ジュニア俳句コンクール実行委員会

子どもたちに俳句に慣れ親しんでほしいと、「第一回塩竈市ジュニア俳句コンクール」が同委員会により行われ、今年2月に各賞受賞作品が決定しました。実行委員会は4人で構成され、俳人で代表の渡辺誠一郎さんは「市内小学校に出向いて俳句教室を行っている」ともあり、子どもたちは俳句を身近に感じてきています。子どもたちが作品を発表できる場としての受け皿を作っていきたい」と話されました。

今回のコンクールには、市内からはもちろん、市外県外を多く含む小・中・高16校3,700句以上の俳句の応募があり、東北最大級の大会になりました。

平成29年までの10年間、戦後を



▲一句一句に目を通しながら各賞を決める「選句」を行います。  
(渡辺さん：写真右)

代表する塩竈ゆかりの俳人・佐藤鬼房氏を顕彰する俳句大会が行われていました。その大会は東日本大震災後も、俳句が人の力になることを信じて続けられ、それを継承する形で今回のジュニア俳句コンクールが始まりました。

渡辺さんは「俳句は短い言葉で季節や自分の気持ちを表現できます。また、仲間同士で豊かなコミュニケーションが取れます。子どもたちにはその俳句の楽しさを知って、遠足などで友達と遊び感覚で楽しんでほしいです」と俳句の魅力を語りました。

コンクールは来年も投句料無料で行う予定です。気軽に参加してみたい方が多いでしょう。

(佐藤鬼房賞)

ググググと

夕日が沈む

秋の海

塩竈高校一年 大久保凛乃

(塩竈市長賞)

初日の出

雲を退け

昇って

第一中学校一年 早坂正進

▲第一回ジュニア俳句コンクールの入選作品

シリーズ  
塩竈の魅力再発見⑪

## 日本の文化を体験できる塩竈

塩竈市では、数多くの水産加工品を生産しており、観光に来た多くの皆さんに楽しまれています。その水産加工業で欠かせない存在となり、震災復興や地域の活性化にも貢献しているのが、外国人技能実習生です。

今回は1月27日(日)に開催された「外国人技能実習生との交流イベントinしおがま」に参加した実習生に塩竈の好きなおところについて聞きました。

実習生は「まだ塩竈に来たばかりで知らないところが多いです。これから、たくさん知りたいです。」「浴衣とか着物を着られることは、とても楽しいです。」「日本人の皆さんとお話ができてうれしいです。これからも、こういう会に参加したいです。」と明るく答えてくれました。



実習生は、古い建物を見られるまちあるき、ひなまつりや着物など、日本の文化を体験できる塩竈を楽しんでいるようです。

皆さんが発見した塩竈の魅力を、メールにて教えてください。

外国人技能実習生との交流イベントについては  
政策課企画係 ☎355-5631  
塩竈の魅力再発見については  
観光交流課人・まち交流係  
Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp



宗旨宗派不問  
つどいの地

仙塩丘の上霊園

宮城県塩竈市  
向ヶ丘25番9号

塩竈市月見ヶ丘  
霊園向い側

永代管理供養墓  
～しあわせ～

永代にわたって大切な人に会いに来ることが  
できる安らぎと安心の碑。跡継ぎがいなくても  
安心のプランとなっております。※詳しくはお問合せください

ペット合同供養墓あり

料金  
形態

基本料金

永代使用料及び管理料  
一式 40万円 (税別)

ご夫婦お二人様

永代使用料及び管理料  
一式 60万円 (税別)

お問合せ ご相談・お見積り無料  
生前申し込み承ります

☎022-762-8656

樹木葬生前予約分譲開始 仙塩丘の上霊園 検索  
※指定石材店は志賀石材店です

